



New Zealand Food Safety
Ministry for Primary Industries
Manatū Ahu Matua

21 August 2020

ご担当者様

第一次産業省 (MPI) とニュージーランド食品安全省 (NZFS) は、食品安全問題を非常に重視しています。

ニュージーランド食品安全省は、ハチミツのサンプルに含まれるグリホサート残留物を対象とした調査を、2017/2018および2018/2019に実施しました。

販売可能な蜂蜜から採取したサンプルには、規制値を超えるグリホサート残留物は無く、食品安全性の懸念はありませんでした。

生ハチミツのサンプルの少量から、規制レベルを超えるグリホサート残留物を示しましたが、これらのサンプルに関連する食品安全性の懸念はありませんでした。

これを日々の生活に例えた場合、5歳の子供が0.1 mg / kgのグリホサート残留値（ニュージーランドの最大残留値）を含む蜂蜜を食べたとします。その子供が毎日、約230kgの蜂蜜を人生一生食べ続けてやっとな、世界保健機関（WHO）が規定する日々のグリホサート摂取量に到達するのです。

これらの調査の結果は、他の国際的なレポートや研究で発表されている残留レベルと、有病率が同等またはそれ以下であることを示しています。

Regards,

Allan Kinsella

Director Assurance, New Zealand Food Safety

New Zealand Food Safety
Ministry for Primary Industries
Charles Fergusson Building
34-38 Bowen Street PO Box 2526
Wellington 6140, New Zealand
mpi.govt.nz